



平成 29 年、2017 年、今年もよろしくお願いいたします。

あんずの初めてののお正月です。12 月 28 日は、支援をお休みにさせていただき、大掃除をし、普段手がまわりにくかったところまで、きれいに整えました。その後、これまでの子ども達との過ごし方等を、児童、放デイのスタッフ合同で振り返る時間を作りました。日々、子ども達と過ごし、お母さんお父さんと話してきたことは、その日その日で振り返りながら、立ち止まりながら考え、次につなげてきましたが、一步踏み込んで、改めてスタッフ全体で話し合っていくことで、新たな気づきや学びが湧き上がってきました。子ども達の育ちと同様に、すぐに形に現れるものではないかもしれませんが、日々積み重ねて、あんずの“隠し味”になっていければと思います。

さて、今年はどうな一年に？ 気持ちを新たにすることも、なんだか新鮮ですね。

—1 月・2 月の予定—

- 1 月 5 日 (木) 支援開始 (児童・放デイ共) よろしくお祈りします！
- 1 月 17 日 (火) 地域連携日 (児童・放デイ共お休みです。)
- 1 月 20 日 (金) ST (児童)
- 1 月 26 日 (木) ドクターN の医療相談 (14 時～16 時)
- 2 月 13 日 (月) ST (児童)
- 2 月 20 日 (月) 地域連携日 (児童・放デイ共お休みです。)

＝お知らせ＝

《H29 年 4 月以降の利用について》 **重要!!**

*H29 年 4 月以降のあんずの利用につきまして別紙にてお伺いいたします。1 月中に大まかな予定を確認させていただきます。よろしくお願いいたします。

《ドクターN の医療相談について》

*今年度は、残すところ 1 月と 3 月の 2 回となっています。3 月の枠に空きがありますので、ご希望の方はお申し出ください。来年度も年 4 回実施予定です。

《卒園式 & お別れ会について》

*児童の卒園式と、放デイのお別れ会を、それぞれ 3 月末に予定しています。詳細は決まり次第、別途お知らせしますので、よろしくお願いいたします。



《風邪の予防について》

*冬休み明け、インフルエンザや胃腸炎等の感染が広がる時期です。これまで同様、センター内の衛生管理には努めていきますが、まずは、大人のこまめな手洗い・うがいの励行が大切かと思えます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



《研修等のお知らせ》

*あんず内での講演会等の研修だけでなく、保護者の皆さんも対象になっているような外部の研修情報について、掲示板に貼りだしてあります。興味のあるものがありましたら、お声をかけてください。内容の詳細や申し込み方法等についてご説明します。

○児童のページ○



バナナクラスの12月あれこれ



12月は、体調を崩したり、用事でお休みのお友達も多く、朝の集まりでは「あれ？ここに座るの？」とキョトンとしたり、席の取り合いになったり…。自分の居心地の良い場所があり、周りのお友達を意識しているなあ、と感じました。

この意識は、他の場面でも。トイレトレーニングでは、カッコよくできるお兄ちゃんお姉ちゃんをジ〜ッと見つめ、ホールでは、ブービーカーで追いかけてっこをしたり、オモチャの取り合いをしたり。今までとは違うにぎやかさが微笑ましく、嬉しい日々でした。

新しいお友達も増えて、ますますパワーアップしたバナナクラス(1月もお友達が増えます)、今年もたくさんの「たのしい!」「できた!」を体験してほしいと思います。

メロンクラスの12月あれこれ



あけましておめでとうございます。

半年がたちましたね…。その中でたくさんの出会いがあり、そしてたくさんの刺激を受け、育ちのPower全開だったと思います。あんずで経験したことが、過ごしやすさの力に変わり!! 集団の中での笑顔につながるように、新しい年も一日一日大切に過ごしていこうと思います。

今年もどうぞよろしくお願いいたします!

あれ?12月の振り返りじゃ、なくなっちゃいました。前のめりすぎですか? 早くみんなに会いたいんです!

12月には新しいお友達も増えました。仲良しの輪、話し合える輪を、

これからも大きくしていきましょう!

マスカットクラスの12月あれこれ

12月のマスカットさんは、軍手人形ひとつにしても、それぞれの楽しみ方がありました。じっくり眺めてみたり、みんなから少し離れた場所で両手にはめてみたり。その他のいろいろな活動の中でも、思い思いにアレンジして楽しんでくれる姿がありました。まだまだ不安なときは、ママの身体にピッタリとくっついて守ってもらおう姿もあります。

そして、子ども達のキラキラのお顔と、大人達の笑顔がそろうと、お部屋は、まるでお花畑!?!のようでした。

2017年、笑って泣いて、怒って笑って、

あんずで、みんなで楽しめたらいいなと思います。



○放デイのページ○

放デイのひとり言

あけましておめでとうございます。

放デイに来てくれる皆さんの、玄関に飛び込んでくるときの元気な◎笑顔◎に、私たちもついついニコニコ。日々のパワーをいただいています！

今年もみんなで力を合わせて、いろんな活動にチャレンジしましょう＼(^o^)/

さてさて、もうお正月も過ぎ…ですが、先月の活動の楽しかったお話を…

12月と言えばクリスマス！ということで、

あんずでもクリスマスケーキを作りました。ロールケーキに、各自思い思いのトッピング。

ホイップクリームを絞ることひとつとっても、それぞれの個性が光ります☆彡

ちょんちょんと可愛く絞りだす子、むによ〜っと横に長〜くのつける子、ソフトクリームみたいに高くぐるぐる絞っていく子。「絞る」って意外と力加減が難しく、最初には大人がちょっと手を添える子もいましたが、みんなすぐにコツをつかんで、上手にデコレーション。同じ素材でこんなに違うケーキが出来上がるのね〜と驚きました！食べてなくなっちゃうので、しっかり画像に収めて、おうちの方に披露しました。も…もちろん、食べてばかりではなく、しっかり身体も動かした12月ですよ❁ 1月も元気に！放課後のひとときを楽しく一緒に過ごしましょうね。



☆☆お礼☆☆

ご近所の方から、立派な“まつぼっくり”をたくさんいただきました。その他の方からも、オモチャや、クリスマスの飾り、2017カレンダー等をいただき、本当に感謝しております。

あんずは、6月にスタートしてまだ四季を越えていないので、季節にちなんだグッズをいただくと本当に助かります。子ども達に、季節ごとの雰囲気を作ることができています。ありがとうございます。



「レクチャー OF あんず」の報告

12月7日（水）に立教大学の大石幸二先生をお招きして、あんずの保護者の皆さん対象に、講演会を行いました。『就学前に大切にしたいこと&学齢期に大切にしたいこと』という欲張ったテーマで、前半は就学前のお話、後半は学齢期のお話（入れ替え制&ずっといてもOK）で進めていきました。以下、参加された方々の感想の一部です。

- *子どもが育つ極意「やって見せ、言ってきかせて…」を聞いてそうだな…と感じました。子どもがまだまだ小さい頃は、おもちゃで遊んでも私が片づけをしていたけれど、ある時から、一緒に片づけをしてくれるようになって。子どもができるようになってから、遊んだ後は「お片付けしてね」と任せようになり、イヤイヤもあってかできなくなり…。当たり前前にできていたわけではなく、お手本を見せていたからなんだな。できなくなったのではなく、“できたら誉める”を、毎回ちゃんと親の私もしていなかったからかな…、と思うようになりました。毎日育児をしていると、子どもができるようになったことを当たり前のことに思ってしまう、褒めることは大事なんだと改めて思いました。
- *講演会というものに参加したのは初めてだったのですが、何というか、とても身近なお話で、あっという間の2時間でした。あんずでの時間もそうですが、目に見えることだけでなく、その背景、どうしてこうするのか、できないのか等、物事をいろいろな方向から見る大切さを改めて感じました。毎日接していると、どうしても成果主義、結果重視になりがちですが、その凝り固まった思考を少し柔らかくしていただけた気がします。
- *前半だけ参加させていただきました。子どもへの接し方を少し変えてみようと思います。良いところをたくさん見つけて（できないことを考えるのではなく）そこからできることが増えていけばいいなと思いました。気持ちをわかってあげられていること、きちんと伝えてあげること、まだまだ自分にはできることがあると、気づかせていただきました。
- *わかりやすく、聴きやすいお話でとても良かったです。我が家の子どもは小学生なので、幼児期のお話は、すでに通り過ぎてきた時間として「確かにその通り！」と理解できました。学齢期のお話は、“なるほど”と思うお話ではあったのですが、もう少し、物事理解力に乏しい子ども達も対象にしたお話が伺えたら、もっと良かったなあと思いました。我が家としては「そこまで達していないよ～」という感じだったので…。また、幼児期のお話の内容がとても良かったので、それをどのように先に続けていくのか、が伺いたいです。次回を楽しみにしています。
- *とてもためになる講演でした。聴いてよかったと思います。聴きながら、自分の子はどんなタイプか、自分の子に應用するなら、どんな場面で、どんな方法があるかを想像しながら聴いていました。ほめ方、やらせ方、しつけ方、すべてにその子と親のやり方、在り方があるなと思いました。
- *ついつい、結果や評価に気をとられてしまいがちだけれど、講演会に参加して、子どもの気持ちに寄り添って、子どもなりの頑張り、挑戦したことなどを共感することが大切だと、改めて感じました。小さな良さを見つけることも、とても素敵だなと思いました。

次回以降の研修会にも活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。





「つながり」という言葉から、私が第一に連想し、皆さんに伝えたいと思ったことは、「手をつなぐ」ということです。

私の教師生活は、川越にある盲学校の幼稚部で新任教師としてスタートしました。そこでは、自分で歩く力を育てていくために、なるべく手をつながないようにしていました。そのためには、心をつないでいること、「そばにいるよ」「大丈夫だよ」と、言葉少なに伝えていることが大前提です。私の教師生活の土台は、この幼稚部で培われました。

「手をつなぐ」＝「心をつなぐ」＝「心を伝える」＝「心を感じる」

お子さんと手をつないでいますか。大好きな人と手をつないでいると安心できて、幸せな気持ちになります。親子で手をつないで幸せそうな様子を見ると、私まで幸せになります。

学校でよく見るのは、手をつなぐのではなく、手首をつかんでいることです。手をつなぐということは、掌を合わせることです。手首や腕をつかむのは、連行の手と私は言います。手首や腕をつかむのでは、心はつながらないと思うのです。私は、優しい気持ちで手をつなぐように心がけています。掌から気持ちを伝えるため、気持ちを感じ取るためです。もちろん、悪いことをした時には、指導の気持ちを込めてぎゅっと強く握ります。

心をつなぐために、手をつなぐことを大切にしています。

十数年前、H 小学校での出来事。運動会の全校ダンスの練習でした。手をなめてしまう A 君と2年生の男の子が手をつないだときに、私は、「Aくん、手をなめたらお友達の手をつなぐのが、いやだよ。」と言葉をかけました。すると、その2年生の男の子は「ぼく、大丈夫だよ。あとであればいいんだよ。」と、さらっと言って手をつなぎました。嫌われないように嫌がられないようにと、常日頃気を使っていた私は、この子の言葉が胸にしみました。顔も名前も覚えていないけれど、あの時の2年生の男の子の言葉は、今の私を支えています。

あの時から、今までずっと私の中につながつている言葉です。

☆求む！☆

- ・カラーボックス（3段のもの）
- ・雑巾

よろしくお願いします！



今月も、ちょっと温かくいきましょうか！